

事例の情報	氏名：Yさん 性別：女性 年齢：87歳 身長：152cm 体重：37.5kg 血圧105～140/65～100
人生経過	新宿で生まれたが戦争で家が焼け中野で過ごす。職場で夫と出会い24歳で結婚。25歳で長女をもうける。出産を機に仕事を辞め専業主婦となる。夫とは喧嘩をしたことがなく、常に2～3歩後を歩くようなThe日本人女性的な性格。夫や娘に対して感情を出すことがなく、娘の結婚式ですら泣かない位しっかりしていた。料理が好きでほぼ外食はなく、自宅で何でも作っていた。
様子が変わってから来院時までの経過	H27頃から独り言が増え、「蛇が出る！」等の訴えが度々あり、精神科受診。内服しても治らず、他の内科を受診するようになり徐々に安定。歩行が不安定になってきたため訪問診療へ切り替わる。R2年6月より訪問歯科が介入。
初見時の様子・印象	R3年1月初見時は1日中ほぼ寝たきりで発語なし。話しかけても反応なし。ベッド横に菓子パンやチョコレートなどが置いてあり、寝たままコーヒーを飲んだり、おかきを食べたりしていた。トイレは夫の介助によりふらふらしながらではあるが歩いて行っていた。
他の疾患	糖尿病、高血圧
生活状況	92歳の夫と2人暮らし。デイサービスに週1回通い（現在はコロナによりR4年11月から停止中）訪問リハビリが週2回、訪問看護が月2回、訪問歯科が週1回介入しており、それ以外の買い物や食事の準備、洗濯や掃除などは夫が行っている。
家族・スタッフの困りごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話ができない</li> <li>・転倒せずに生活してほしい</li> <li>・夜中のトイレ介助により、ぐっすり眠れない</li> </ul>
身体状態	要介護3だったが、R4年1月より要介護5へ変更となる。（R3年9月脱水にて救急搬送され、体重の減少に伴う筋力低下により歩行状態の悪化のため）トイレ、週1回のお風呂、朝・晩の食事以外はベッド上。リハビリで年に2回程度調子がよければ外に出る。体重41kg→現在37.5kg
検査結果 (MMSや長谷川式など)	<p>R3年11月15日：MMSE 7点  時間の見当識(0)、場所の見当識(1)、即時想起(3)、計算(0)、遅延再生(0)、物品呼称(2)、文の復唱(0)、口頭指示(0)、書字指示(1)、自発書字(0)、図形模写(0)</p> <p>R4年5月23日：MMSE 13点  時間の見当識(1)、場所の見当識(2)、即時想起(3)、計算(3)、遅延再生(0)、物品呼称(2)、文の復唱(0)、口頭指示(1)、書字指示(1)、自発書字(0)、図形模写(0)</p>

## 現在のアプローチ内容

脳：前頭葉（外・内側前頭前野、ブローカー野、左下前頭回復側部）、左側頭葉（ウェルニッケ野、左海馬傍回、左紡錘状回）

→卓上療法（計算問題、しりとり、点つなぎ、間違い探し、動物を見つけて名前を書く、左右の形はなに、図形を覚える）、カレンダーに印をつけて日付の確認を行う

内臓：◎腎臓、肝臓、◎肺、副腎、脾臓、子宮、小腸

→水を飲むようにする、コーヒーを減らす（水を入れて薄める）菓子パンを辞める（サンドイッチ、朝ご飯は雑炊）、鎮痛剤はなるべく服用しない、内臓治療、頭蓋治療

筋：腓腹筋、大腿四頭筋、ハムストリングス、脊柱起立筋、大胸筋、菱形筋、胸鎖乳突筋

→口腔ケアの時はベッドから移動して座位で行う、トイレに行きたい時は歩く為にも行かせる（手を洗う為に洗面所にも行くよう促す）、筋膜整体

心：停止24点、悲観的22点、自分勝手20点、他力20点

→口腔ケア中のうがいやティッシュで口を拭く動作は自分で行ってもらう、卓上療法の終わり時を自分で決めてもらう

その他：早口言葉、口腔体操、フレイル予防体操、MCTオイルや栄養補助食品の導入

## 現在までの経過

R3年5月：口腔機能検査、体重41kg、SpO<sub>2</sub> 94~96%

→舌口唇運動・舌圧・咀嚼機能低下（嚥下機能は低下傾向）

・ベッド上で過ごすことが多かったため、口腔ケア中だけでも動くよう食事をするテーブルで座位のまま行うようにした・口腔乾燥などがみられたため、水分摂取を毎回促した

R3年9月：脱水により救急搬送（夏でも寒いと言い、電気毛布をつけていた）

体重34kg→2週間程訪問看護により輸液管理（ほぼ絶食だった）

R3年11月：MMSE測定し、治療開始

・ペットボトルに水を入れて、摂取量の把握と他の職種からも水分補給の促しを行ってもらった（リハビリ後や入浴時、CM訪問時など）・卓上療法→ペンで文字書けない、野菜の名前が分からないものがある、左右分からない、耳で聞いた文章が理解できない・夜間の菓子パンはなくなった・処方されたエンシュアでお粥を作り、朝食で摂取する。

R3年12月：左右分かるようになる、発語が増える

・卓上療法→分からなかった野菜の名前を伝えて、数分後確認すると「さっきまで覚えていたのに…。」と言い最初の文字を連呼するようになった、翌週もう一度同じ内容を行うと答えることができた

R4年1月：筋膜整体+早口言葉

・浮腫み増幅しており、筋膜整体実施・MCTオイルをお粥に入れるよう提案

R4年2月：卓上療法+内臓整体+早口言葉、SpO<sub>2</sub> 96~97%

・夫や夜間頻尿に困っていたため大腸経など治療に追加、卓上療法（左右の図形はなに）で間違えても自ら訂正できるようになった・「み」「む」など難しい発音も意識して言うようになった

R4年3月：卓上療法+内臓整体+筋膜整体+早口言葉+他動運動+カレンダーで日付確認

・歯医者と理解しているようで、自ら口を開けたり、ケア前にうがいや歯磨きをしたり、顔を洗って髪を整えるようになった・ペンを持って計算問題ができた（足し算、引き算、掛け算できた）

R4年4月：3か月ぶりにディサービス利用再開、体重35kg

・本人「週何回来るの？」に対して「週1回です」と答えると「月1回でいい」と時間の感覚が出てきた

・前回のMMSEで「今日は何月ですか」に対して「分からない」だったが、「3月じゃないの？」と答えるようになった・自ら話をするようになった（絵が下手なこと、夫の学歴、猫が好きなことなど）

R4年5月：MMSE13点、体重35.5kg

・誕生日が分かるようになる

→誕生日当日にしりとりを行うと「ケーキ」が出たため「ケーキは何の日に食べるの？」と問うと「誕生日」

「Yさんの誕生日は何月何日？」に対して正解を答え、「今日は何月何日ですか？」と問うと笑顔になり「今日が誕生日なの！」と答えた

・翌週日付を確認すると「数日違う日を答えたが、誕生日過ぎたの」と先週のことを覚えていた

R4年6月：体調崩しだした

・浮腫み増幅、水分摂取量低下

R4年8月：コロナ感染症のクラスター発生によりディサービス休止

R4年10月：医療・介護制度の変更に伴い負担割合が増したため、歯科の頻度を減らしてほしいと言われる

R4年11月：月3回に減少

R5年1月より月2回で口腔ケア中心となり、今まで行えていた内臓整体や筋膜整体、卓上療法ができなくなり、早口言葉を数分行う程度となる

・食欲や歩行状態よく、体重37.5kgまで改善、SpO<sub>2</sub> 96~98%